

登録コード	A2544300	開講年度	2026				
授業科目	植物生産一貫実習				担当教員	阿久津 雅子	
英文授業名	Practice for Agriculture (Plant)					今井 裕理子	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限 火曜・4時限	対象学生	3年生
講義室	農学部農場		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				主にワイン用ブドウ栽培ができるようになる		
	2026A3編(24A), 2025A3編(23A), 2024Aカリ, 2023Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				主にワイン用ブドウ栽培ができるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	1. 作物, 野菜, 果樹等を教材として, 継続的な栽培・管理技術を習得する 2. 各種作物の圃場試験方法について理解を深める 3. 有機・低農薬栽培に関する基本技術について実践し, 理解を深める 上記1について, 体験することを標準的な達成レベルとする 上記2-3について理解・実践できることを理想的な達成レベルとする						
(5)授業計画	授業計画 以下の内容で, 天候や作物の生育に合わせて実習を行う 第1回 実習の概要説明, 果樹類の管理 第2回 ブルーベリーの管理 第3回 野菜の育苗管理 第4回 ヤマブドウの管理(棚付け, 芽かき) 第5回 ヤマブドウの管理(新梢の棚付け) 第6回 ヤマブドウの管理(新梢の棚付け) 第7回 野菜類の管理(イチゴの採苗) 第8回 雑穀類(ソルガム)播種 第9回 ヤマブドウの管理(摘房, 新梢の棚付け) 第10回 野菜類の管理(イチゴの芽かき, 摘果) 第11回 ヤマブドウの管理(摘房, 新梢の棚付け) 第12回 雑穀類の管理 第13回 ブルーベリーの収穫・管理 第14回 ヤマブドウの管理(仕上げ摘房, 新梢の棚付け) 第15回 野菜類の管理(イチゴの芽かき, 摘果) 授業アンケート回答						
(6)自主学習の指針	実習で扱った作物等に関連する書籍を読んでもらうことを勧める						
(7)成績評価の基準	実習への取り組みについて, 1)実習の目的と内容を把握し, 2)作業等を積極的に行い, さらに, 3)周囲に配慮した効率的な作業を組み立てられる姿勢が求められる。1~3が十分に達成されていれば「秀:卓越している」, 1~3が概ね達成されていれば「優:かなり上にある」, 1~2が十分に達成されていれば「良:やや上にある」, 1~2が概ね達成されていれば「可:水準に達している」とする						
(8)事前事後学習の内容	実習で扱った農作物および農作業の内容に関する事前・事後学習を, それぞれ2時間程度行って下さい。 特に, 技術用語についてその内容を確認して下さい。						
(9)テストやレポートの予定	○実習の内容および感想について期末に提出						
(10)成績評価の方法	実習中の態度(積極性, 協調性, 作業精度等)より評価						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます 蔬菜園芸学研究室 (AFC構内ステーション農場研究棟) 阿久津: akutsu@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	○休講はしません ○特別な指示のないかぎり, 農場の作業室へ集合して下さい ○実習方法や注意事項を徹底させるため, 遅刻しないよう注意して下さい ○安全のため, 作業衣と長靴を着用するほか手袋と帽子を用意して下さい ○体調不良な者は速やかに申し出て下さい ○天候と実習対象作物の生育状況などにより, 予定を変更することがあります						
【教科書】	特になし						

【参考書】	参考資料を配付します
-------	------------